

## 第1学年 国語科学習指導案

日 時 平成20年9月30日(火) 5校時  
児 童 1年生 17名  
指導者 萬 喜 美 子

- 1 単元名 くらべてよもう  
教材名 じどう車くらべ

### 2 単元について

#### (1) 教材について

第1学年及び第2学年の「C読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気づきながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる」ことである。

本単元で育てたい主となる能力は、「イ.時間的な順序、事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと」である。そこで本教材の学習を通して、『自動車の「しごと」と「つくり」の関係を考えながら内容の大体を読むこと』を目標としている。

本教材は、この時期の児童にとって身近で興味・関心がある代表的なものの一つである自動車を取り上げた説明文である。文章構成は、「話題・問題提示・問題に対する説明」となっており、その説明内容は、自動車の「しごと」と「つくり」という二つの事柄の因果関係で述べる形をとっている。条件や理由を表す言葉を用いて表現することにより、いっそう機能と構造の関係を明確にさせる初歩的な指導に適している。

この文章は、自動車の「しごと」と「つくり」を関係づけて考えられるように、「そのために」という言葉を用いている。「そのために」という言葉が果たしている役割を理解させることによって、自動車の働きと構造を関連づけて捉えられることができる。また、他の車種と比べて読ませることにより、一層その関連を明確にすることができる。

さらに、「消防自動車」についての設問から、それまでに学習した「しごと」と「つくり」の説明の構成を生かして調査・読書をし、自動車図鑑をつくる表現活動への発展学習も意図されている。児童が自動車図鑑を作るという目的意識と意欲を持って、楽しく「じどう車くらべ」の説明文を読み取っていくことができる教材となっている。

#### (2) 児童について

児童は入学してからこれまで、平仮名の読み方・書き方の学習、短い文の読み方・書き方の学習をしてきた。1学期に初めて出会った説明文として「いろいろなくちばし」を学習している。そこでは、問題とそれに対する答えといった文型を学んだ。文と写真とを照応させながら、書かれている大体の内容について読み取った。この単元の学習を通して、書かれていることの大体を読み取る力を児童はつけてきている。しかし、写真や図に頼り言葉に着目できなったり、主語と述語が曖昧であったりする児童も見られる。「いろいろなくちばし」の内容については、分かったが、他の文章では内容が分からないといった状況である。また、平仮名が読めるようになり拾い読みがやっという児童から、一度通読しただけでおおよその内容をつかんでしまう児童まで幅広い。

これまでの学習を通して、文章を正しく視写したり、大事な語句にサイドラインを引いたりすることができるようになってきている。しかし、書く速さや平仮名の習熟度、集中力を持続させることや、読点や促音を落とさずに書くことが難しい児童も見られる。

学習前に実施した「じどう車くらべ」の読解力事前テストの平均点は、74.1点で、「つくり」が捉えられないが児童が6名「しごと」が捉えられない児童が4名、問題文の内容を読み取れない児童が2名いることが分かった。

また、学級には特別支援を必要とする児童が3名いるので、サポートの先生の支援を受けながら学習を進めている。

### (3) 指導にあたって

本教材の指導にあたっては、音読に個人差があるので、家庭での音読練習を十分にさせ、全員が音読できるようにし授業に臨みたい。問題提起の部分で自動車がどんな仕事をしているか、そのためにどんなつくりになっているかという「問いかけ」をきちんと捉えさせたい。また、「そのために」という接続詞の役割を大切に、それぞれの自動車の説明が「しごと」と「つくり」から構成されていることに着目させながら読み取らせていきたい。

「つかむ・見通す」の段階から自分たちの自動車図鑑を作ることを予告することで、目標意識と意欲を持たせ、「じどう車くらべ」を読み取る学習に最後まで意欲的に取り組ませたい。そのために、既習の「いろいろなくちばし」で学習した問いと答えの構成に気づかせ、「じどう車くらべ」でも、問いと答えの関係の構成であることに気づかせる。その上で、自動車の「しごと」と「つくり」について関連づけて読み取っていくということを把握させる。

「深める」の段階では、どの自動車も「しごと」と「つくり」について説明していることを確認し、それを読みのおねらいとして設定し、主体的に学習を進めていきたい。そのために文末表現にも着目させていきたい。読み取る際には「しごと」と「つくり」にサイドラインを引かせることにより、自分の考えをしっかりと持って話し合いに参加させたい。さらに、挿絵や文章中の言葉や経験からイメージを膨らませて、「しごと」と「つくり」の関連性を読み取ることができるようさせたい。そこで「そのために」という言葉をおさえ果たしている役割を言葉で話させるよう促したい。また、動作化したり挿絵で理解を補う際、文章に戻り、言葉を確認しながら読みを深めていく必要がある。

「まとめる」「広げる」の段階では、これまでの学習をもとに、他の自動車の「しごと」と「つくり」について「そのために」を用いて説明できるようにする。自動車図鑑を作る際は、目的意識と意欲を持って、楽しく取り組ませたい。また、人に聞いたり資料を読んだりして情報を集めさせる。次に、書き写したり書き換えたりして表現を工夫させたい。そのため、できるだけ多くの資料を用意したうえで個々の実態に応じて助言をしたり、つまづきに寄り添ったりしていきたい。挿絵や教室掲示を手がかりに児童が活動ができるようにする。それぞれの作った文章を声に出して読ませることにより、作った満足感を味わわせたい。

## 3 単元の目標

### 【関心・意欲・態度】

- それぞれの自動車の仕事とつくりについて、意欲的に読み取っていかうとする。
- 自動車図鑑を作るために、選んだ自動車について説明に必要な情報を集めようとする。
- 乗り物の本などに興味を持ち、進んで読もうとする。

### 【読むこと】

- ◎ 三種類の自動車について、しごととつくりの関係を考えながら内容の大体を読むことができる。
- 語や文としてまとまりを考えながら声に出して読むことができる。

### 【書くこと】

- 教材文のまねをして、簡単な組み立てを考えて書くことができる。

### 【言語事項】

- 語や文のまとまりを考えながら敬体の文章表現に慣れることができる。

4 単元の指導計画（全9時間）

段落	時	学習内容	具体的評価規準	努力を要する児童への支援
つかむ・見通す	1	全文を読み、初発の感想を持つ。 新出漢字やかたかなの読み方について確認し、音読の練習をする ◇感想	関：全文を読んで、書かれている自動車について、仕事か、つくりについて感想が書ける。	どんな自動車が書かれているか確認しながら、それについてどう思うか問いかけ感想を持たせる。
	2	読み取りの視点「しごと」と「つくり」を捉え、自動車図鑑を作る計画を立てるという学習の見通しを持つ。	読：どんな自動車の何について説明しているかを読み取ることができる。 言：問題提起文を見つけて、「しごと」と「つくり」という構成を理解することができる。	挿絵をもとにどんな自動車が出てきたかを確認させる。 問題提起文を示し、何を聞いているか見つけさせる。
深める	3	「バスやじょうよう車」のしごととつくりを読み取る。 ◇サイドライン ◇抜き書き	読・言：バスや乗用車の「しごと」と「つくり」を理解し、それを結びつけながら、内容の大体を読み取ることができる。	挿絵と教材文を照応させながらバスや乗用車は人を乗せて運ぶ仕事をする事と、「そのために」を手がかりにつくりについてサイドラインを引かせる。
	4	「トラック」のしごととつくりを読み取る。 ◇サイドライン ◇抜き書き	読・言：トラックの「しごと」と「つくり」を理解し、それを結びつけながら、内容の大体を読み取ることができる。	挿絵と教材文を照応させながらトラックは荷物を運ぶ仕事をする事と、「そのために」を手がかりにつくりについてサイドラインを引かせる。
	5 本時	「クレーン車」のしごととつくりを読み取る。 ◇サイドライン ◇抜き書き	読・言：クレーン車の「しごと」と「つくり」を理解し、それを結びつけながら、内容の大体を読み取ることができる。	挿絵と教材文を照応させながらクレーン車は重いものを吊り上げる仕事をする事と、「そのために」を手がかりにつくりについてサイドラインを引かせる。
まとめる	6	「はしご車」のしごととつくりを調べまとめる。 ◇抜き書き	関・言：はしご車の「しごと」と「つくり」を調べるために、本から読み取りまとめることができる。	はしご車の本から、「しごと」と「つくり」のことが書かれている部分を示し見つけさせる。
広げる	7	自分の好きな自動車を選んで説明文を書く。 ◇まとめ書き	関：自分の選んだ自動車の仕事とつくりを基本文型を使って書くことができる。	自分の選んだ「しごと」と「つくり」を確かめ、文の書き出しを指示する。「そのために」を用いて文を書かせる。
	8	自分の好きな自動車の説明文を清書し、絵を描く。 ◇まとめ書き	関：自分の選んだ自動車の仕事とつくりを説明する文を挿絵を入れて書くことができる。	自分の選んだ自動車の説明文を挿絵を入れて書くことができる。
	9	友達の書いた説明文を交流しあい感想を書く。 ◇感想	関：友達の書いた文章を読みよいところを見つけるとともに活動への意欲を持っている。	教材文と同じ言葉を使っている部分を見つけさせる。

5 本時の指導

(1) 本時の目標

【関心・意欲・態度】

○ クレーン車の「しごと」と「つくり」に興味を持ち、進んで学習しようとする。

【読むこと】

◎ クレーン車の「しごと」と「つくり」を理解し、それを結びつけながら読み取ることができる。

【言語事項】

○ 「そのために」「～たり～たり」「～のように」の語に注意して読む。

(2) 本時の書く活動

本時場面では、前時までの学習をもとにクレーン車の「しごと」について書かれてあるところにサイドラインを引かせ抜き書きさせることにより、クレーン車のしごとについての理解を深めさせる。次に、「そのために」を手がかりに「つくり」を考えさせ、サイドラインを引かせ抜き書きさせることにより、仕事をを行うための「つくり」を読み深めていきたい。さらに、教材文と挿絵を手がかりに「つくり」を確かめ動作化することや他の自動車と対比させることにより書かれている内容を的確に理解させたい。

(3) 本時の展開

◇書く活動      ◎主となる「書く活動」      ☆支援      ○評価

段階	学 習 活 動	教師の発問と指示	予想される反応	評価と支援
つかむ 5分	1.前時の学習を想起する。  2.学習課題をつかむ。	・昨日学習したトラックのしごととつくりについて確かめます。トラックは、どんなしごととつくりになっていましたか。  ・今日はクレーン車について学習します。今日のめあてを確認しましょう。	・にもつをはこぶしごと。 ・ひろいにだいになっている。 ・タイヤがたくさんついています。	☆教室掲示を参考に前時の学習を想起させる。 トラックがしごとをするためのつくりが2つあることを想起させる。  ☆みんなとクレーン車の「しごと」と「つくり」について学習することを補足する。
見通す 3分	3.学習場面の見通しを持つ。	・「しごと」と「つくり」をさがす手がかりはなんでしたか。 ・「しごと」と「つくり」をつなぐ言葉はなんでしたか。	・「～います。」「～あります。」 ・「そのために」	☆主述の関係を確認する。「そのために」の前文は、「仕事の内容(目的)」後ろの文は、その仕事を果たすための車の「つくり」であることを確認させる。
深める 30分	4.学習場面の音読をする。 ・個人読み ・指名読み  5.クレーン車のしごととつくりについて読み取る。 (1)クレーン車のしごとについて読み取る。 ◇サイドライン ◇抜き書き	・今日学習する場면을音読しましょう。 ・クレーン車のしごとのことを考えながら音読しましょう。  ◎クレーン車はどんなしごとをしていますか。見つけてサイドラインを引きましょう。  ◎線を引いたところを書きます。 ・重いものは、どんなものでしょう。	・一斉音読する。 ・指名音読をする。  ・おもいものをつり上げるしごと。 ・抜き書きする。	○はっきり大きなこえで正しく音読できたか。(音読)  ○「しごと」という言葉を手がかりにサイドラインを引くことができたか。(サイドライン)  ☆トラックで扱った「おもいにもつ」からイメージ化する。

<p>深める 30分</p>	<p>(2)クレーン車のつくりについて読み取る。</p> <p>◇サイドライン</p> <p>◇抜き書き</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つり上げるとはどうすることでしょう。(教師による動作化)</li> </ul> <p>◎クレーン車はどんなつくりになっているか、分かるところにサイドラインを引きましょう。</p> <p>◎線を引いたところを抜き書きします。(動作化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クレーン車がこんなつくりになっているのはどうしてでしょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つってあげる。</li> <li>・ひっかけて上に上げる。</li> <li>・つる+上げる</li> <li>・じょうぶなうでがある。</li> <li>・のびたりうごいたりする。</li> <li>・しゃたいがかたむかないようにしっかりしたあしがある。</li> <li>・抜き書きする。</li> <li>・動作化する。</li> <li>・腕が丈夫でないと重い荷物をつり上げることができないから。</li> <li>・車体が傾くと大変だ。</li> </ul>	<p>☆挿絵を手がかりに動作化から読みを深めさせる。</p> <p>○「そのために」という言葉を手がかりにサイドラインを引くことができたか。(サイドライン)</p> <p>☆教師が紙板書にサイドラインを引いて確認させる。</p> <p>☆挿絵を手がかりに動作化し、読みを深めさせる。(動作化)</p> <p>☆他の自動車のつくりと比べることにより、深くつくりについて考えさせる。</p>
<p>まとめる 7分</p>	<p>6.今日の学習のまとめをする。</p> <p>(1)黒板にまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>クレーン車は、おもいにもつをつりあげるしごとをしています。そのために、じょうぶなうでやしっかりしたあしがついているのです。</p> </div> <p>(2)まとめの音読をする。</p> <p>7. 学習を振り返る。</p> <p>◇自己評価</p> <p>8.次時の予告をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クレーン車のことをまとめます。</li> </ul> <p>・今日学習を思い出しながら音読をします。(一斉読み)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の学習で分かったこと、友達の話聞いて分かったことをまとめ書きし発表しましょう</li> <li>・次の時間は、はしご車についてどんな「しごと」と「つくり」になっているか考えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音読する。</li> <li>・自己評価とまとめをノートに書く。</li> <li>・腕が丈夫だと分かった。</li> <li>・車体が傾かないためにしっかりしたあしがついていることが分かった。</li> </ul>	<p>☆課題に戻り、黒板を手がかりにして「しごと」と「つくり」を結びつけて教師と一緒に黒板にまとめさせる。</p> <p>○今日の学習のクレーン車の仕事とつくりを考えながら音読できたか。(音読)</p> <p>○今日の学習のことを進んで発表できたか。(挙手・ノート)</p>

(4) 本時の評価

【読むこと】

○クレーン車の「しごと」と「つくり」を理解し、それを結びつけながら読み取ることができたか。(サイドライン、抜き書き、部分視写、動作化、発言)

A 十分満足できる	B 概ね満足できる	C 努力を要する児童への支援
<p>クレーン車の仕事とつくりを理解し、仕事をつくりを結びつけて、その有意性を考えながら読み取ることができる。</p>	<p>クレーン車は重いものを吊り上げる仕事すること、そのためのつくりを理解し、その内容の大体を結びつけて読み取ることができる。</p>	<p>挿絵と教材文を照応させながらクレーン車の仕事を見つけさせる。また、「そのために」を手がかりにつくりにサイドラインを引かせる。</p>



段落	段落の要約	教材文	指導(能力)事項	言語事項
<p>問題提起文 (問い)</p>	<p>それぞれの自動車は、どんなしごとをしているか。そのために、どんなつくりになっているか。</p>	<p>①いろいろな「じどう車」が、どうろをはしっています。 ②それぞれの「じどう車」は、どんな「しごと」をしていますか。 ③「そのために、どんな「つくり」になって いますか。</p>	<p>「〜していますか。」 「〜なっていますか。」 疑問形Ⅱ文末表現 「問いかけの文」 「そのために」 接続語</p>	<p>いろいろな自動車Ⅱ車の種類 (学習意欲の喚起が大切) 道路Ⅱ道 それぞれⅡ車の種類 仕事とつくり 仕事Ⅱ働き つくりⅡ目的</p>
<p>結論 (答え)</p>	<p>バスや乗用車のしごととつくり。</p>	<p>④バスや じようよう車は、人を のせて はこぶ「しごと」を して います。 ⑤「その ために、」 ぎせきの ところが、ひろく つくって あります。そとの けしきが よく みえるように、大きな まどが たくさん あります。</p>	<p>「問い」に対する 答え「バスや乗用車は、います。」 「〜が、 ……あります。」 主述関係 「その ために」 接続語</p>	<p>バスや乗用車Ⅱ人を乗せて運ぶ 仕事Ⅱ働き つくりⅡ目的 座席Ⅱ座る所 景色Ⅱながめ</p>
<p>結論 (答え)</p>	<p>トラックのしごととつくり。</p>	<p>⑥トラックは、にもつを はこぶ「しごと」を して います。 ⑦「その ために、」 うんでんせきの ほかは、ひろい にだいに なっています。 おもい にもつを のせる トラックには、タイヤが たくさん ついて います。</p>	<p>「問い」に対する 答え「トラックは、います。」 「〜が、 ……あります。」 主述関係 「その ために」 接続語</p>	<p>トラックⅡ荷物 を乗せて運ぶ 仕事Ⅱ働き つくりⅡ目的 運転席Ⅱ運転手が乗るところ 荷台Ⅱ荷物を積む場所</p>
<p>結論 (答え)</p>	<p>クレーン車のしごととつくり。</p>	<p>⑧クレーン車は、おもい ものを つりあげる 「しごと」を して います。 ⑨「その ために、」 じようぶな うでが、 のびたりうごいたり するように、 つくって あります。 車たいが かたむかないように しっかりした あしが、 ついて います。</p>	<p>「問い」に対する 答え「クレーン車は、います。」 「〜が、 ……あります。」 主述関係 「その ために」 接続語</p>	<p>クレーン車Ⅱ重いものをつりあげる 仕事Ⅱ働き つくりⅡ目的 うでⅡアーム あしⅡ支えになっっている</p>